

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 4 回相模原市学校給食あり方検討委員会		
事務局 (担当課)		学校給食課 電話 0 4 2 - 8 5 1 - 3 2 3 6 (直通)		
開催日時		令和 4 年 1 0 月 3 1 日 (月) 1 5 時 0 0 分 ~ 1 6 時 0 0 分		
開催方法		W e b 会議		
傍聴会場		相模原市役所本館 2 階 第 1 ・ 第 2 特別会議室		
出席者	委員	8 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	7 人 (学校給食・規模適正化担当部長、学校給食課長、他 5 人)		
公開の可否		可 不可 一部不可	傍聴者数	1 人 (他報道機関 1 名)
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由				
会議次第		1 開会 2 議題 中間答申(案)について 3 その他 4 閉会		

1 開会

事務局から出席委員の人数が定足数に達していることを確認し、会議成立の報告をした。

2 議題 中間答申(案)について

事務局より、資料1、資料2に基づき説明を行った。

(川崎委員長) 修正案について意見・質問はあるか。

(委員一同) 意見無し

(川崎委員長) 中間答申(案)については、(案)をとって確定し、教育長に提出する。

(緒方委員) 今回中間答申を提出し、最終答申は来年度提出するということだが、中間答申で提出した内容は全く変わらないということか。最終答申では食育等について議論した内容を追加するという認識で良いか。

(事務局) 中間答申は今回で確定し、新たに食育等に関する議論の内容を付け加えて最終答申をまとめていただくことを想定している。

(緒方委員) 承知した。

3 その他

(事務局) 事務局で用意した「その他」についての案件はございません。委員の皆様から何かございましたら承りたいと思いますが、いかがでしょうか。

(緒方委員) 事務局にメールしてあるが、8月の学校給食改革本部の会議録が10月28日に公開されたが、その内容について説明を求めたい。

(事務局) 中学校給食に関しては、教育委員会の審議会である本検討委員会と、市長部局が主体となっている「学校給食改革本部」の2つの会議体で検討が進んでいる。教育委員会と市長部局でそれぞれ権限が異なり、教育財産の取得及び処分あるいは契約の締結等は市長の権限となっている。その部分については、学校給食改革本部で検討を進めさせていただいている。

緒方委員が話されていたのは給食センターの候補地の案件だと思われるが、給食センターが基本ということで本検討委員会からお話をいただいている中で、学校給食改革本部では事務的に候補地の検討を進めているところである。

(緒方委員) かなり具体的な候補地が出ていて、ここまで具体的に決まっていたなら知らせて欲しかった。私たちは、知らないまま本検討委員会で話し合いをしていたことがショックだった。

第3回の本検討委員会での議論も、候補地を知っているのと知らないのとでは話す内容も変わってきたと思う。8月の時点でこのように具体的に決まっていたのなら事前に知らせて欲しかった。

(事務局) 候補地の選定については、様々な条件を段階、段階で調査検討する中で候補地が増減し、一様にこの場所が候補地でそれ以外が候補地でないという状況ではない。今回発表したのは8月24日時点の検討状況である。(画面共有で資料提示)他にもいろいろ議論しているが、この段階ではこれらを候補地として挙げている。地元への影響など総合的に検討をしてきたが、あくまでも候補地という状況であり、今後の検討、あるいは地元の意見を賜りながら具体的な場所については引き続き検討してまいりたいと考えている。

(藤原委員) 8月に候補地が分かっている、本検討委員会の第3回が10月6日だった。その検討委員会で伝えられなかったとしても、今回の検討委員会の資料にも入っていない。このことから、伝える予定がなかったということだと思う。私たちは、伝えられないままで、今回実施方式についての議論が終わるところだった。他の資料でも、市としては委員の方に伝えたことになっていると思う。すでに伝えて承認された前提になっている資料などもある。その点についてはどうなのか聞きたい。私たちは知らされていないと思うのだが、知らされた前提となっている資料などもある。その点について皆さんは承認したということによろしいか。他の委員も承認したということになっているが、それでも承認された上で、地域の方にお知らせするって話になってしまっているが、その点について他の委員の方も意見などないか。私はおかしいと思う。

(事務局) 教育委員会と市長部局では役割がそれぞれある。本検討委員会は教育委員会の外部組織という位置付けで、教育委員会の権限に則した中で諮問をさせていただいている。市長部局の権限の範囲については本検討委員会の審議対象外という扱いにさせていただいている。ただし、必要な情報については引き続きお知らせしながら本検討委員会の審議は進めさせていただきたい。

(川崎委員長) 教育委員会は組織的には独立の形態をとっている。今回、行政の構造的な事情で並行して議論が進められているが、本検討委員会では場所等については認識していない。ただ、本検討委員会では、場所ではなく、どのような実施方式かを議論しており、中間答申の中でも場所については一切触れていないため、候補地の情報の有無は中間答申作成には特段問題はないと考えている。

(緒方委員) 今、候補に挙がっている土地は、市の発表資料によると土壤汚染があつて基準値の10倍以上の鉛が検出されている。答申を覆すつもりはないが、センター方式を進めると、土壤汚染の対策等どこまで時間がかかるかわからない中、それを見込んだ答申にすべきなのか私にはわからないが、センター方式という方針1つで進めていいのか不安である。令和8年までというのがあり、センター方式だけで進めるといふ答申になると、何かあった場合に影響がないかという心配がある。皆様はどう思われるかできれば御意見をいただきたい。

(事務局) ご指摘のとおり最も有力な候補地と記載のある旧東清掃事業所は一部で鉛が検出され、現在追加調査を行っている。今年度中に結果が出ると聞いている。この場所に建設するというのであれば当然必要な対策は行うつもりである。

(大澤委員) 候補地を探した結果どうしても見つからなかった場合、そのエリアでは給食センター方式をとることができないという結論になるのか。

(事務局) 現段階で候補地を4つ示しているが、順に検討して4つとも困難となれば他の候補地を探すことになる。センターを基本という大前提の中で進めていくため、センターをやめて次に自校を考えるとということではないと考えている。

(緒方委員) 候補地はいつまで探し続けるのか。北側の候補地がない状態で、センターを進めて行くというのはどこまでするのか。ここで話すことではないのか。どうなのか。早期実現にも関わってくると思うが、分かっていることがあれば伺いたい。

(事務局) 市全体の考え方として、令和8年中の実施を目指しており、間に合うように時期を見計らいながら候補地を決定してまいりたい。

(川崎委員長) 本検討委員会では中学校給食の方向性として3つの大前提を定めた。この大前提が守れないような状況になればセンター方式ではなく他の方式を進めることになる。この答申から考えて緒方委員が懸念しているようないつまでも検討し続ける状況はないと認識している。

4 閉会

以上

相模原市学校給食あり方検討委員会 委員名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	えもり かつひろ 江森 克弘	相模原市立弥栄中学校長		出席
2	おおさわ あやこ 大澤 絢子	神奈川工科大学健康医療科学部 准教授		出席
3	おがた ゆみ 緒方 祐美	公募委員		出席
4	かわさき かずやす 川崎 一泰	中央大学総合政策学部 教授	委員長	出席
5	さとう ゆき 佐藤 由起	相模原市立若草小学校長		出席
6	さとう よういち 佐藤 陽一	東海大学ティーチングクオリフィ ケーションセンター 講師		欠席
7	しのだ はるみ 篠田 春美	相模原市P T A連絡協議会		出席
8	つつみ ちはる 堤 ちはる	相模女子大学栄養科学部 教授	副委員長	欠席
9	つのだ けん 角田 健	相模原市P T A連絡協議会		欠席
10	ふじわら まりこ 藤原 万里子	公募委員		出席
11	まつたに まゆみ 松谷 まゆみ	公募委員		出席